



日本社会福祉士会
全国大会・社会福祉士学会
ポスター発表参考資料

＝作成～発表のポイントと留意点＝

公益社団法人日本社会福祉士会 学会運営委員会
実践研究推進プロジェクト

2021年12月



はじめに

- ❁ 1 ポスター発表を設けた意味
- ❁ 2 ポスター発表とは
- ❁ 3 ポスター作成での基本事項
- ❁ 4 ポスター作りのポイント
- ❁ 5 プレゼンテーションのコツ
おわりに



1. ポスター発表を設けた意味

- ❁ 会員「社会福祉士」の実践にかかる研究や報告を共有するために、新たな方法として学会分科会に【ポスター発表】を設置
- ❁ ポスター発表の効果
 - ▶ 実践の言語化と可視化
 - ▶ 実践の「振り返り」と「課題の整理」
 - ▶ 気づきや学びを得ることで実践基盤を強化



2. ポスター発表とは

❁ ポスターは研究発表のための補助手段
今では学会「発表スタイル」として、
〔口頭発表〕と〔ポスター発表〕は定着

最近、学会などで多く見られるのが、「ポスター発表」です。

幅1メートル、高さ1.5メートルほどのパネルにポスター形式の資料を張り、その脇で、訪れた参加者に発表者が個別に説明をしたり、質問を受けたりします。

参加者はわざわざポスターを見に来るわけですから、発表に高い関心を抱いていることも多く、その場での名刺交換や、ときには情報交換の約束をすることもあります。



3. ポスター作成での基本事項

❁ ポスター発表の心得

発表者本位ではなく、聴衆(閲覧者・聞き手)の目線で行う

❁ ポスター発表の目的を確認

発表の目的は「発信すること」ではなく、「伝える＝伝わること」！
自身の研究内容やメッセージをできるだけ詳細にたくさん発信することではなく、一人でも多くの聴衆に「伝えること」です。
研究内容はもちろんですが、自分自身を「認知してもらおう」、「興味をもってもらう」ことを目指しましょう。

❁ ポスター発表におけるスタンス

発信に気を取られ、伝える努力をおろそかにしないこと！



4.ポスター作りのポイント

❁「聴衆の目に留まり、
聴衆が足を止めてくれるポスター」

❁発表に適したポスターとは

☞ 学会規定でサイズや掲示方法の仕様を確認すること

聴衆に対する視覚的効果という意味では、タイトルが目立つような文字色・背景にして、あえてタイトルと内容の用紙を分ける(別々に作る)方法や、紙面を分けることで視覚的に(視線の)動線を作る方法、若干読みにくても、内容に不足が生じない範囲なら、あえて許可されたスペース(ボード等)より小さめにする方法などがある。



4.ポスター作りのポイント

❁ポスター発表の方法を先に決めよう

「プレゼンテーションの仕方」についてコンセプトを先に決定

◇研究内容の全体は発表者が説明し、ポスターはその要点を説明した資料

◇ポスターで全体の大まかな内容がわかるようにし、発表者が要点を説明する

▶**明確なコンセプトを決めると、掲載内容の取捨選択に一貫性が生まれ、見やすく伝わりやすいスマートなポスターになる！**



4.ポスター作りのポイント

❁ タイトルは「研究内容が一目でわかる」言葉で

- ▶ 聴衆は1枚1枚をじっくりと見るのではなく、目に留まった瞬間に興味を持つポスターにし、か足を止めない！

❁ タイトルは「目的＋キーワード」で、

「極力短く」が考える際のコツ

- ▶ 見る距離を考慮した大きさや文字数に対し、しっかりと配慮しましょう！



4.ポスター作りのポイント

❁「簡潔な情報量」と

「見やすいレイアウト」にする

- ▶「口頭発表のスライド」の羅列 ⇒ 説明不足
- ▶論文のような詳細の長文 ⇒ 情報過多



❁全体を「絵(画)」として捉える視覚的な

「見やすさ・読みやすさ」を優先する



5. プレゼンテーションのコツ

🌸 プレゼンテーションの最大のメリット

- ▶ 発表者と聴衆（閲覧者と聞き手）の間で、自由にコミュニケーションの機会が設けられること！
- ▶ 説明の合間に質問を受付けたり、逆に聴衆の理解度に即して説明を端折ったり、重要な視点を掘り下げる等聴衆とのコミュニケーションを取りながら状況に応じて好きなようにコントロールできる自由がある。

口頭発表は時間的制限があり、定量的な内容と説明が必須



5.プレゼンテーションのコツ

🌸ポスターの傍に立っていよう！

- ▶いつでも説明できるように必ず傍に立っていること
自分次第で聴衆を呼び込むことができる利点

🌸積極的にアプローチしよう！

- ▶「自分から説明を求めてくる人はごく一部」
積極的な声かけ“簡単に説明させて頂けますか？”
- ▶発表者は〔笑顔と適度な冗談を交えたコミュニケーション〕を意識する。



視覚に
訴える



おわりに：発表～今後へ

❁ポスター発表に際して(補足)

- ▶メールアドレス記載で情報交換の可能性が広がる
- ▶「手持ち資料」があると印象に残る

❁聴衆として他者の発表を拝見・拝聴する

- ▶他発表者からの「良いと思う発表の方法や内容」等

❁ポスター発表の成否を振り返る

- ▶今後へ活かせる発表になったか否か、自身にとって有意義な議論だったり、自己の研究に興味を持ってくれる先輩たちとの出会い、知己・人脈を得る機会となったのかなど・・・。